

1. 日時 平成29年11月24日（金） 15:00～17:00
2. 場所 大阪府立桃谷高等学校 会議室
3. 出席者（委員）  
中島順次 会長 梅田和子 委員 田口直美 委員
4. 主な内容 平成29年度学校経営計画 取り組みの進捗状況について
5. 説明・協議

### 【多部制単位制Ⅲ部の報告】

#### ①平成29年度 学校経営計画及び学校評価（進捗状況）

- ・中期的目標として
  - (1)『確かな学力の育成及び教員の授業力の向上』
  - (2)『キャリア教育及び進路指導の充実』
  - (3)『豊かな心の涵養及び「社会の一員」としての自覚の醸成』
  - (4)『学校運営体制の確立及び人材の育成』の4点について具体的な取り組みが行われている。
- ・『確かな学力の育成及び教員の授業力の向上』生徒の肯定率は昨年度に比べ、高くなっている。

#### ②前期授業アンケート結果

- ・肯定率、昨年前期の83.9%から今年度前期は86.4と微増。
- ・特に「先生は教科書以外に理解に役立つ資料やプリントなどをうまく使っている」の項目は昨年度87.9%から92.5%と4.6ポイント上昇。
- ・『授業に興味や関心を持つことができたと感じている』項目も4ポイント上昇。

#### ③学校教育自己診断票（生徒用・保護者用・教員用）

- ・教育自己診断は現在集計中

#### ④前期出席率・単位修得率について

- ・前期出席率・単位修得率の分析から、「授業開始から1カ月の取組み」、又、「現2年次生への取組み」が必要であることが読み取れた。
- ・単位修得率と出席率の相関関係については、1・2年次生の単位修得率と出席率はほぼ同じであるが3・4年次生は、出席率は低いけど単位修得率が高い。このことから、特に1・2年次生は出席率の向上が単位修得率の向上に繋がることが分かったので、授業改善チームを設置し、取り組んでいる。

#### ⑤授業改善推進チームについて

- ・初回の全体研修で『桃谷Ⅲ部の授業力を高めるために必要なこと』と題して、知識構成型ジグソー方を教員に体験させた。また、翌週には、首席がUDLの観点を取り入れ、授業における生徒への支援方法を提示した模範授業を行った。
- ・教職経験の浅い教員が多く、初任者の授業力向上が必要不可欠のため、今年度からは、初任者の研究授業実施前に、全教員を生徒役とした、「プレ授業」を実施している。
- ・教員の忌憚のないコメントを受け、3人の初任者は指導案や授業内容を改善し、本番の研究授業に臨んだ。

#### ⑥授業規律の確立について

- ・スマホの指導を積極的に行っている。内容は45分の中で注意が2回でスマホを預かるというもの。
- ・実感として、堂々とスマホをさわる姿が少なくなっていると感じる。注意回数が徐々に減ってきた。
- ・ルールを明確にしたことで、教員自身も注意がしやすい雰囲気になったというものが多かった。

- ・コソコソと使用している生徒への対応が今後の課題である。
- ・後期より教室への入室指導を強化している。
- ・当番の内容に関しては、巡回から立ち番という形にして、教室に生徒を入れるようにしている。

#### ⑦授業集中キャンペーンについて

- ・今まで生徒保健部が行ってきた授業規律の確立と、新たに出てきた課題の解決を目指して、「授業集中キャンペーン」としてこの2つの動きを合わせて、生徒への啓発を行っていくもの。
- ・後期の開始日から、出席率の向上を目指した取り組みとして、欠席・遅刻のデメリットを生徒に知らせた上での入室指導を実施中。
- ・授業規律の確立を目指して、生徒保健部が中心となり、巡回指導の計画を立てて、実施している。
- ・これらの取り組みを通して、出席率と単位修得率の向上を目指し、現在実施している。

#### ⑧課題早期発見フォローアップ事業を活用した支援体制について

- ・1点目は、外部人材の活用。課題を抱える生徒への支援方針の検討や関係機関への橋渡しなどSSWと自立支援アドバイザーを交えて、支援体制を構築している。
- ・2点目は、生徒が気軽に過ごすことができる居場所の設置。課題を抱える生徒の早期発見と登校の動機づけを、NPO法人と連携して「かめカフェ」を実施している。
- ・アセスメント会議：生徒の背景や行動の特徴など事前に予測を立てるために行っている。新入生は全員、在校生は担任の要望に応じて行っている。
- ・ケース会議：特定の生徒への対応を具体的に考えていく。外部人材に任せるだけではなく、生徒支援委員会や関係教員も関わり、月1回程度定期的に開催している。
- ・居場所事業として、NPO法人み・らいずと連携し『かめカフェ』を実施。毎週火・水に開設し、利用者は自由に歓談が可能。利用者数も定期的に増加中。

#### ⑨キャリアカウンセラーの活用について

- ・進路未決定のまま卒業する生徒を減らし、ミスマッチによる高い離職率の減少を目的としキャリアカウンセラーを活用。11月現在までで10回の実施。

#### ⑩フレッシュマン・セミナーについて

- ・対象は初任者から4年目までの教員。
- ・今年度の重点課題は『自ら意見を発信し、他の教員と相談する姿勢を養う。』『「報告・連絡・相談」など、組織的に業務を進める姿勢を養い、日々の実践に活用できるようにする。』の2点。

### 【多部制単位制Ⅲ部の協議】

Q：授業改善推進チームの取り組みの中で、初任者はどういう課題を感じ、どういったアドバイスをもらっているのか。

A：90分間の授業に、生徒をひきつけさせ、集中させるということがなかなか難しい。(初任者談)

研究授業後、全ての教員が参加して、研究協議が行われた。困り感の集約をして、様々な視点からアドバイスを行ったり、情報を共有することができたので、共通認識を持って授業に取り組めた。(教務部長)

Q：初任者が多いとうかがったが、今年度の状況はどうか。

A：3名転出し3名が初任者として入ってきた。内、1名は他府県での経験があるが、残り2名は講師経験のある者。吸収力という面では安心もあるが、経験値が少ない故の危うさもある。各分掌長がミドルリーダーとなって指導助言を行っている。

## 【多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部の報告】

### ①学校経営計画 進捗状況【教頭】

- ・保護者懇談実施率、前期41.8%。中学校へ文書案内は100%実施。
- ・「学びのシステムの構築」（教員の授業、生徒の頑張り、進路での活躍や実績は別紙。）
- ・「生徒の自尊心を回復し社会性の向上を図る取り組み」  
→「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」等を作成、生徒に応じた支援を実施。
- ・進路説明会（保護者対象）を実施、46家族が参加。
- ・進路説明会（生徒対象）を実施、269名の参加。参加肯定率は96%。
- ・進路説明会を実施（職業体験中心）。外部から27講座を開設、237名が参加。
- ・近畿大学から先生を招き、大学進学をめざす生徒対象の講座を開講、生徒アンケート肯定率96.6%。
- ・総合的な学習（講座別）を行い、様々な講座を開設。
- ・大阪府公立高校進学フェアのブース来場者数110名。（個別対応実施）。
- ・校外学習（神戸三宮）、参加生徒259名。アンケート肯定率92.5%
- ・文化祭終了後、有志の校外清掃実施。
- ・陸上競技部や軟式野球部（全国3位）、サッカー部（ベスト16）、バドミントン部（団体3位）全国大会出場。

### ②今年度の重点目標

- ・保護者との連携

→保護者懇談実施率41.8%。連絡の取れない保護者には家庭訪問や電話連絡で対応。

- ・広報活動の充実

→公開授業参加者100名、アンケート肯定率92%。学校訪問では府内の中学42校、高校7校を訪問。

個別相談11件。学校説明会は132名（8月）、68名（10月）が参加。アンケート肯定率94.1%。

- ・教職員研修の充実

→外部研修報告会の実施。（内容は人権教育・教育相談・学習支援と学習評価など。）

→「コミュニケーションタイム」を実施し、SWOT分析を用いた強みと弱みの現況分析。学校改革や環境改善に向け、具体的な内容を班ごとに分かれ話し合い付箋を用いて整理。

- ・「学びのシステムの構築」

- ・授業力の向上

- ・人権教育・三位一体の教育活動、社会性の育成（地域資源の活用等）

### ③MMP（桃谷メンタープログラム）研修：（経験の少ない教員対象）。

- ・コミュニケーションや保護者懇談にまつわるスキルをベテランの教員が経験の少ない教員に対して指導助言。

- ・防災研修 8月31日に実施。教職員アンケート肯定率90%。

- ・人権研修 外部の講師を招いて実施。

- ・支援教育研修 外部講師SSWによる研修を2回実施。

### ④学びのシステムの構築

- ・アウトカム指標（自尊感情・自己有用観・職業勤労観・自己理解・将来像）アンケート実施。

授業アンケートの経営計画目標値は3.2であり、アンケート結果も全体的に3.2に到達。

- ・教員の授業力を高めるために研究授業や研究協議。

→各教科1回、初任者は1年間の中で最低2回の研究授業を実施。授業見学月間を設け、お互いの授業を見学に行き、授業見学報告票を提出。（前期提出率は90%。）

- ・図書館の充実。（11月1日現在利用者1,854名。）

### 【多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部の協議】

Q：「学びのシステムの構築」の表の中で5つのアウトカムの中でH28年度新入生の職業観就労観の低さについて何か分析は？また新入生と在校生で別々の集計結果にした方がわかりやすいのではないかな。

A：明確な原因の分析までは至っていない。

勤労観職業観に関して桃谷プロジェクトの中心的な課題としてキャリア教育を位置付け。総合的な学習の時間や特活の時間を通して、数字を上げていくことが目標。卒業時にどれだけあげられるかを目標において取り組んでいる。また、新入生と在校生で変化が見やすいように、資料の整理も行う。

### 【通信制課程の報告】

平成29年度 学校経営計画及び学校評価【西川准校長】

- ・全国高等学校定時制通信制陸上競技大会が実施、男女2名ずつ4名が出場し男子生徒1名が円盤投げで第7位。
- ・大阪府高等学校定時制通信制生徒秋季発表大会で、知事賞（書道部門）、教育委員会賞（放送部門・作品発表）、定時制通信制教育研究会賞受賞。
- ・生活体験発表で、「私が高校生活で得たもの」というタイトルで発表し、奨励賞受賞。
- ・近畿地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会で『5年間の私』というタイトルで最優秀賞受賞。
- ・全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に近畿地区を代表し出場、ネグロス電工賞受賞。
- ・近畿地区高等学校定時制通信制課程体育大会の、陸上競技で男子1名、女子2名出場、女子砲丸投げ優勝。

#### 【①通信制で学ぶ生徒層の変化に対応する教育システムの確立】

- ・各教科、学習支援の在り方について検討。
- ・運営委員会を隔週で開催。
- ・月1回は戦略会議で両教頭、両首席と准校長が運営委員会に出すべき学校の課題を検討。
- ・運営推進チームは、今年度分掌を再編し分掌長を交えて検討予定。
- ・校内研修を第1回「配慮を必要とする生徒の情報共有」というタイトルで実施。第2回「通信制の機能強化について」実施。
- ・校務処理システム係は実務を中心に担当。

#### 【②確かな学力、豊かな人間性の育成とその実現に向けた教職員の資質向上】

- ・第1回のレポート添削アンケートで3.1以上の評価は90.7%。  
3.2以上の獲得を3%以上向上するように努める。
- ・6月と11月に「スクーリング公開月間」を設け、全教職員がお互いのスクーリングを見学。  
「公開研究スクーリング」（6月・11月）実施、7教科で8名の教員が実施。（6月）
- ・「生徒の状況に合わせた多様な学習スタイル」は、NHK高校講座の活用を強化、13科目での実施予定。
- ・数学科、国語科、外国語科では進学希望の生徒に対してきめ細かな指導を実施。

#### 【③生徒支援と相談体制の強化・充実】

ほとりカフェ

- ・託児室で実施。1範囲5日間、のべ26人が利用。2範囲3日間、のべ24名利用。（内容：居場所の提供）
- ・毎回スタッフと教員が振り返り会議を行う。（情報共有・生徒指導等に活用）

#### 【④卒業後の進路を見据えた進路指導の充実】（中進路部長）

- ・不登校などコミュニケーションが苦手、アルバイトをしたことがない生徒に向けて、就職に向け、声だしやコミュニケーションを取る練習から開始。（就職支援講座）
- ・就職試験対策講座で、就職を受ける生徒に向けて簡単な面接練習やマナー、履歴書の作成を行った。
- ・履歴書面接指導実施（10日間：A'ワーク創造館）。

- ・今年度は32人中、19名が内定を決め、高い割合で就職。(進学説明会の充実や看護医療系の説明会を実施)。
- ・奨学金説明会実施(25名参加)。進学・就職・奨学金と保護者に向けて情報発信を行った。
- ・就職に関する説明会(ハローワーク東)2回実施。就職支援グループアクティブカウンセラーや南大阪のサポートの総括コーディネーターの方が新しく進路登録した生徒や1次で内定がもらえなかった生徒への支援を中心に現在指導中。10月から新規登録者23名、現在40%と低い、今後急激に上がっていくことを予測。(2次登録者が急激に増える傾向)

【⑤情報発信・広報活動の充実及び地域と連携した防災教育の取り組み】(西川准校長)

- ・HPで全教科の掲示を設け、内容の充実を図るという項目に関しては、教科開設14教科中7教科(現在50%)。
- ・インフォメーションディスプレイの更新状況は毎回更新。

【通信制課程の協議】

Q：HPの教科ごとのページに授業内容が載っているのか？

A：14教科で実施。学校に登校できない生徒はこの教科開設のHPを利用し、電子データで確認することができる。スクリーニングで配られたプリントを電子データで確認することができる教科もある。

【全体を通して】

Q：保護者の立場として、台風等で電車が遅れる等あった時に学校に到着してから休講のメールが届いたこともあったので、スムーズにいかないものか。自習室などの対応はなかったのか？判断を早められないものか？

A：暴風警報に関しては例えば〇時までには警報が解除されなければ休校などというルールはある。しかし前回の台風は警

報ではなく、交通が遮断されてしまった。生徒もそうだが、教員も学校に来ることが困難であった。そういった状況から急遽、休校という判断に至った。食堂しか開放することができず申し訳なかった。

Q：第1回の時に話題に上がった教科書のその後の進捗状況を教えてほしい。

A：各課程から1部ずつ資料が配られており、資料の通り教科書が決定したので見ておいてほしい。

Q：たばこの吸い殻等、地域の清掃活動についての報告をしてほしい。

A：地域の地図をいただき、吸い殻が多い場所等教えていただいたので対応した。教員が校舎の周りを巡回したり、清掃を行ったりしている。いただいた地図の場所も巡回のポイントにしている。各課程で情報共有、連携をし、立ち番を行うなど努力しているところである。